

I 普及活動事例

○ 本所（枕崎市，南さつま市，南九州市）

1 南薩の農業を支える担い手の確保・育成

1-1 新規就農者等の経営確立支援及び青年農業者の技術経営管理能力の向上

成果の要約

- 1 新規就農者の生産性向上を図り，早期の経営確立を実現するため，基礎研修及び部門研修を開催した。研修内容の理解度割合は89%に達した。
- 2 青年農業者の課題解決能力向上を図るため，プロジェクト活動の推進・支援を行い，3課題が完成し，南薩地区青年農業者会議で3人が発表した。また，青年農業士は新たに2人が認定された。

1 対象

- (1) 就農5年以内の新規就農者 73人
- (2) 過去5年以内の認定新規就農者 34人
- (3) 農業青年クラブ 4組織
- (4) 作目別青年組織 2組織（花き・茶）

2 課題を取り上げた理由

- (1) 新規就農者の中には，就農しても技術不足等で所得目標を達成できない者もおり，早期経営確立に向けた支援が必要である。
そのため，新たな農業者の確保・育成に継続して取り組むとともに，関係機関と連携し新規就農者を定着させる仕組みづくりが必要である。
- (2) 農業青年クラブの活動の中で，プロジェクト活動は十分とはいえず，青年農業者に対してプロジェクト活動を通じた技術習得や経営管理能力の向上支援が必要である。

3 活動の内容及び成果

- (1) 新規就農者等の経営確立支援
ア 営農技術の習得支援
新規就農者等の早期経営確立を図るため，指導農業士と連携し各種研修会を開催した。
基礎研修は，新規就農者や農業研修施設研修生，新規就農等支援事業活用者を対象とし，病虫害防除・土壌肥料・農業機械・農業経営等の基礎知識の習得を目的に，基礎研修を2回実施した。
部門研修は，就農概ね5年以内の青年農業者を対象とし，生産技術の習得を目的に，各部門で実施した。

各部門研修の内容は次のとおりである。

- ・野菜：ピーマンの施設環境制御やIPM技術紹介・指導農業士ほ場での現地検討
- ・果樹：きんかん園の状況に応じた栽培管理支援
- ・茶：病虫害の基礎知識と荒茶審査実習
- ・畜産：肥育の基礎
- ・花き：若手組織「周年菊研究会」を対象に会員から出されたテーマを検討



写真1 基礎講座（農業機械の基礎知識）



写真2 果樹部門研修
（きんかん重点農家園地での管理指導）



写真3 畜産部門研修（肥育の基礎研修）

研修内容の理解度を図るため、アンケートを実施した結果、理解度割合が89%に達した。前年度のアンケート結果を踏まえ、現地ほ場での栽培管理指導や、実体験を踏まえた指導、要点を絞った説明等を徹底したことが挙げられる。

イ 経営確立支援

新規就農者の定着に向けて、市担当者で現状の支援状況と課題について相互検討を行った結果、初の試みとして新規就農者等のほ場視察を行い、技術や経営の課題について助言指導を行った。指導農業士や経営者クラブ員など、様々な立場からの指導は新規就農者の営農継続に向けた良き助言となった。今後も継続して指導農業士と連携して現地指導を行うことで合意しており、支援体制の在り方を検討する。



写真4 新規就農者に対する指導農業士との巡回指導

ウ 就農予定者への支援

当事務所や農業大学校で計画している研修内容や、農業研修施設の状況を踏まえて、就農予定者に対する研修カリキュラムを作成し関係機関と情報共有を行った。

また、青年等就農計画作成に向けて、関係機関と技術・経営面の情報共有と相互検討を行い、2人の作成に繋がった。

(2) 青年農業者の技術経営管理能力の向上 ア プロジェクト活動支援による技術経営管理能力の向上

青年農業者の経営する品目について、栽培上の問題点や解決策について検討するとともに、青年農業者が行う実証を支援し、3人が実績のとりまとめを行った。青年農業士は2人が新たに認定された。

12月に南薩地区青年農業者会議を開催し、53名が参加した。プロジェクト発表を行った3名の青年農業者は課題解決活動の重要性を理解し、次の問題解決への意欲が生まれた。また、研修会ではKEファーマーズが「お茶の入れ方教室」を企画・実演を行った。充実した研修を行うため、準備段階から会員が相互検討し、各々の立場で責任感を持って役割を果たし、企画運営力の向上が図られた。



写真5 南薩地域青年農業者会議

4 今後の課題

- (1) 関係機関・団体と連携した新規就農者の定着及び経営確立支援
- (2) 青年農業者の課題解決能力向上を図るためプロジェクト取組の支援継続

5 担当した普及職員（〇はチーフ）

〇和田，福山，前田，八丸，中，岩崎，仁田尾，森，橋口，田端，矢野